

次の20年を見据えて

長島町長　川添　健

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

長島町は、町制施行20年目を迎え、町全体が一丸となってまちづくりを実践してまいりました。特に昨年は、町制施行20年を記念した特色あるイベントを多数開催しました。町の魅力や歴史を内外に発信し、町民への感謝の意を表明する絶好の機会となり、中でも、ながしま造形美術展では、10万人を超える県内最高峰の集客があり、長島おさかな祭りでは、1万人を超える来場者を迎えるなど町の活力や景気循環に大きな効果がございました。

政策面では、「町民が心から満足でき、格差のない、誇りの持てるまちづくり」を掲げ推進しております。「近き者喜び、遠くより来たる」を念頭に、将来の子どもたちも夢や希望を持ち続けられる、町民が満足し納得のできる町づくりに全力で取り組んでまいりました。

今後も町として、新たな課題の解決に努めながら、『子どもには夢を』、『働く人々に「活力」を』、『高齢者や弱者に福祉の充実』した町づくりに邁進してまいります。

初めに、町立中学校の統合再編については、統合再編と迅速な施設整備を図るため、住民説明会や各種団体への説明を実施し、パブリックコメントを経て、「中学校再編に伴う基本計画」を策定しました。課題となる建物の設置やスクールバスの運行については、詳細を検討中ですが、未来を担う子どもたちを第一に考え、安心して充実した学校生活を送れるよう推進してまいります。

第2に、獅子島架橋の実現です。「夢追い獅子島架橋基金」は21億円を超える見込みで、さらなる促進のため基礎調査を進めていきます。離島振興法の改正で、獅子島を含む離島には「架橋促進」の考え方が盛り込まれています。その足がかりとなる漁港関連道路を早期完成できるよう国・県へ引き続き強く要望してまいります。

第3に、人口減少対策でございます。本町の人口は2045年には、6448人になると予想されています。将来にわたり人口を維持するため、住民や事業者、議会および行政が共通認識のもと危機感を持ち、最小限に食い止めるよう取り組んで行かなければなりません。その一環として、婚活支援事業で出会いの創出と結婚の支援を行いました。加えて「子ども・子育ての長島モデル」に取り組み、格別の対策を図ってまいります。

第4に、ぐるっと一周フラワーロードの充実でございます。これまでのフラワーロードづくりに「光」・「香」・「音」の効果を加えた街道づくりを進めています。キンモクセイやニオイバンマツリなどの香木の植栽で「香」の効果、メロディーロードで「音」の効果を取り入れ、一層魅力的で世界に誇れる街道づくりができるものと考えております。

私は終始一貫して政治は町民ファーストであるべきと考えております。本年も皆さまが生活するなかで満足感、充実感を得られ、誇りを持てるまちづくりを次の20年を見据えて進めてまいります。

結びに本年も皆さまにとって実り多き素晴らしい一年でありますよう、心からお祈り申し上げ新年のあいさつといたします。



希望へ駆ける一年に

長島町議会議長　林　誠治

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととと、心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町議会の運営に深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、町制施行20周年を記念した特色あるイベントを多数開催し、交流人口の拡大と農業、漁業など産業の振興への波及効果は多大であり、「ながしま造形美術展」、「秋の花フェスタ」は合計で10万人を超える来場者で大盛況となったほか、「おさかな祭り」や各種ウォーキング大会など、多彩な催しでにぎわいました。

国内では、大阪・関西万博で世界中から観光客が訪れ、日本の文化の奥深さによって、世界との新たな絆が育まれました。また、女性初の内閣総理大臣が誕生し、日本の政治と社会に新たな風を吹き込み、変革への機運が高まりました。一方で、九州南部を襲った記録的豪雨は、自然の脅威と向き合い、私たちの暮らしや防災意識を改めて見つめ直す契機となりました。

町政の課題として、まず、獅子島架橋の実現を目指す取り組みがあります。町では、平成24年から「夢追い獅子島架橋基金」の積み立てを始め、令和7年度末で21億円に達する見込みです。そこで、令和6年度から町独自の獅子島架橋基礎調査が始まり、令和7年度は、さらに一歩踏み出すための想定ルートや概算工事費、架橋による経済波及効果など種々の調査費が予算化されています。今後はこの調査結果を基に国、県への要望・陳情活動を展開することとなります。町や議会はもとより、獅子島島民や報道機関とも連携して悲願達成を目指すための本年はメモリアルイヤーになると信じております。

次に、「町立中学校の統合再編問題」です。各地域で開催された住民説明会やパブリックコメントを通じて、多くの皆さまから貴重なご意見をいただいております。町議会といたしましても、将来を担う子どもたちの健やかな成長と学びの環境を最優先に考え、議会独自に設置している「学校統合再編調査特別委員会」で結論を得て、早期に方向性を示せるよう取り組んでまいります。

今年の干支は、勢いよく前進し、広い視野で物事を捉える力を象徴する年とされています。駆ける馬のように、迷いなく進む勇気と、風を感じながら方向を見極める知恵が求められる一年でもあります。本町には依然として多くの課題が山積しておりますが、さまざまな技術を活用した住民福祉の向上と、課題解決に向けた多岐にわたる事業が着実に実を結び、町民の皆さまに笑顔の花が咲き誇る一年となることを心より願っております。町民の代表である町議会といたしましては、執行機関である町と「車の両輪」として、健全な緊張感と協働のもと、着実に町政を前へ進めてまいります。議会は進路と速度を確かめ、必要な点検と提言を行い、進むべき道を誤ることのないよう、監視していきます。主役は町民の皆さまであることを第一に、誰一人取り残すことなく、多くの困難を乗り越え、確かな歩みで目的地へと向かう一年となりますよう、今後も引き続き鋭意努力してまいります。

今後とも、町民の皆さまの町議会への一層のご理解とご協力をお願い申し上げるとともに、本年もお一人おひとりにたくさんの「歓喜」が訪れ、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。